

2022年合格目標

司法試験講座

Bar examination



- ・ビデオブース講座
- ・Web 通信講座
- ・DVD 通信講座
- ・Web フォロー

2020年12月～2022年7月

超速シリーズ

受講ガイド

TAC LICENSE SCHOOL



TAC

司法試験 本試験について

必ずご確認ください

司法試験 本試験は毎年1回、5月第3水・木・土・日曜日の計4日間（令和3年参考）で実施されます。本試験の流れにつきましては、令和3年を参考にいたしまして下記にご案内いたしますが、変更となる場合もございますので予めご承知おきください。

なお、**TACでは受験申込の代行は行っておりません。受験申込手続は必ず皆様方ご自身で行っていただきますようお願い申し上げます。**

◎ 受験願書の配布（令和3年参考）

受験願書は、令和3年1月22日（金）～令和3年2月19日（金）の期間で、①法科大学院を通じて交付、②郵送、③法務省への来庁により配付されます。

◎ 受験申込受付（令和3年参考）

令和3年2月2日（火）～ 令和3年2月19日（金）

◎ 受験料（令和2年参考）

28,000円

◎ 試験日（令和3年参考）

令和3年5月12日（水）・13日（木）・15日（土）・16日（日）

◎ 受験資格（令和2年参考）

令和2年に実施される司法試験の受験資格は、①法科大学院の課程の修了又は②司法試験予備試験合格であり、受験期間は受験資格を取得した日後の最初の4月1日から5年間です。

◎ 合格発表（令和3年参考）

令和3年9月7日（火）

合格者には合格証書を郵送されるほか、受験番号が官報に公告されます。

◆司法試験 本試験に関する詳細は下記までお問い合わせください。

法務省大臣官房人事課 司法試験係

T E L 03-3580-4111（代）

問い合わせへの対応 9:30～12:00、13:00～18:00（土日祝を除く）

司法試験 予備試験・法科大学院入学試験については、法務省・各法科大学院のHPをご覧ください。

はじめに

この度は、TAC司法試験講座をご受講いただきましてまことにありがとうございます。本書は、当講座を受講される方のため教材や各種フォローサービス等に関するご案内をまとめた“講座別受講ガイド”です。別途お渡ししております『TAC利用ガイド』と併せてご覧ください。また、受講終了までご利用いただくものとなりますので、大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

TACは合格のために必要な知識や受験テクニックを受講生の皆様に効率よく提供することにより、最短距離で合格していただくことを第一の目的と考えております。したがって、本書はこれから司法試験合格を目指すにあたり、受講生の皆様にどのように当講座を利用していただくか、その効果的な活用方法を項目ごとに要約しております。

皆様が合格を勝ち取れますよう、TAC司法試験講座の講師・スタッフ一同、精一杯サポートさせていただきます。

TAC司法試験講座

司法試験講座 受講ガイド

CONTENTS

通学メディア・通信メディア共通編

- | | |
|--------------------|------|
| 1. 会員証について | P 04 |
| 2. 講義・教材について | P 06 |
| 3. 演習・答練について | P 08 |
| 4. 公開模試について | P 09 |
| 5. 質問・相談について | P 10 |
| 6. 各種フォロー・サービス対応表 | P 11 |
| 7. 各種サービス提供期限一覧 | P 12 |
| 8. 教育訓練給付制度について | P 13 |
| 9. 司法試験講座オリジナルサービス | P 16 |

ビデオブース講座編

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1. 答練等の受講、答案の採点および
成績発表について | P 18 |
| 2. 答練・演習の教室振替について | P 19 |
| 3. もう一度講義を受講したい場合 | P 19 |

通信メディア編

- | | |
|--------------|------|
| 1. 教材発送について | P 21 |
| 2. 答案添削の流れ | P 22 |
| 3. i-support | P 25 |
| 4. スクーリング | P 26 |

巻末

1. 住所変更手続き（変更届出書）
2. 質問カード
3. N E X T 割引
4. お問い合わせ先一覧
5. T A C M A P

マイページ登録について

TAC WEB SCHOOL マイページは、すべての受講生の皆様に登録していただく必要がございます。
登録をまだ行われていない場合は、
[<http://portal.tac-school.co.jp>]にアクセスし、
→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、
画面の案内に従って登録を完了させてください。

以下については別冊「T A C 利用ガイド」
または TAC WEB SCHOOL をご覧ください。

通学メディア・通信メディア共通編

1. 講座開始日と受講期間
2. 会員証について
3. マイページ登録について
4. 講義出席状況の確認
5. 施設利用上の注意事項
6. 自習室について
7. 日程変更について
8. 教材を紛失した場合
9. 住所等を変更される場合 ※
10. 在籍証明書・履修証明書について
11. T A C 利用上の注意事項
12. 災害時の対応・行動

教室講座・ビデオブース講座編

1. 教室講座受講上の諸注意
2. 欠席した場合の教材受け取り
3. ビデオブース講座受講上の諸注意
4. ビデオブースの利用方法
5. ビデオブースの予約

通信メディア編

1. 教材発送について
2. TAC WEB SCHOOL 利用方法
3. TAC WEB SCHOOL に関する F A Q

※住所等を変更される際にご提出いただく「変更届出書」は当受講ガイド巻末に収録しています。

受講ガイド

通学・通信メディア共通編

1 会員証について

TAC受講生となった方には、「会員証」を発行いたします。

会員証は、皆様がTACの受講生であることを証明する大切なものです。TACご利用の際には、常に携帯していただき、以下の注意事項を遵守してください。

1. 会員証について

- (1) 会員証は本人のみに有効であり、他人へ譲渡または貸与することはできません。
- (2) 会員証を紛失した場合には、受付窓口にて再発行いたします。なお、再発行には、別途手数料がかかります。この場合、再発行日以前の講義は欠席分を含めて、日程表どおりに出席したものとして扱います。また、テキスト等の教材もお渡し済みとして処理いたします。
- (3) 会員証を不正に利用させた場合、並びに不正に利用した場合には、当該コース正規受講料の3倍の料金を申し受けます。
- (4) 会員証に表示されている有効期限を過ぎると講義の受講、教材の受取、フォロー制度や自習室の利用は一切できません。

2. 会員証はこのような場面で使用します

- (1) 教室講義への出席時やビデオブースを利用する時には、会員証を提示してください。

教室で講義を受ける時は、会員証は必ず机の上に出しておいてください。講師・スタッフが専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。（通信メディアの方がスクーリングを利用する際も同様です）。

ビデオブースを利用する場合には、視聴前に受付に会員証を提示し教材をお受け取りください。

※もし会員証を忘れてしまったら…

講義を受ける前に、受付にて「仮受講証」の交付を受けてください。

「仮受講証」の交付がない場合には、講義の受講ができません。

- (2) 教材を受け取る際には、会員証を提示してください。テキスト等使用教材につきましては、受付にてお渡しします。
- (3) クラス振替出席フォロー・クラス重複出席フォローをご利用の際は、会員証をお持ちください。専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。
- (4) 自習室利用の際にも会員証を携帯してください。スタッフが会員証の確認・スキャンを行う場合があります。

また、お申込みのコースによっては自習室をご利用できない場合があります。詳しくは、『TAC利用ガイド』の通学メディア・通信メディア共通編「**6**自習室について」をご確認ください。

3. 会員証の有効期限

- (1) 会員証には、有効期限が表示されています。TACサービスのご利用は、すべて有効期限内に完了してください。また、自習室のご利用も有効期限内となります。
- (2) 会員証の有効期限を過ぎた場合には、教材の受け取りなど「該当する目標年度の各種サービス」のご利用は一切できなくなりますのでご注意ください。
- (3) 会員証の有効期限は、TACサービスの利用期限となります。受講契約の解約・返金時に算定の基礎となる受講期間とは異なりますのでご注意ください。

4. 会員証の書替手続き

お申込みの講座・登録コースによっては、会員証の書替手続き（模擬試験の受験票発行など）が必要となる場合があります。詳しくは専用の案内書をご確認いただくか、受付窓口にてご確認ください。

5. 会員証を紛失した場合

- (1) 受付窓口で再発行いたします。その際、①「身分証明書（運転免許証など）」②「証明写真（3cm×2.4cm。紛失した会員証の枚数+1枚）」③「印鑑」をご用意ください。
- (2) 再発行の際は、再発行手数料〔会員証1枚につき500円（税込）〕がかかります。
- (3) 再発行日以前の講義は欠席分を含めて、登録コースの日程表どおりに出席したものと扱い、教材はお渡し済みとして処理いたします。
また、各講座の無料再受講制度についてはご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。
- (4) 会員証の再発行には1週間程度の期間を要します。

2 講義・教材について

1. 講義一覧

※各コースに含まれる講義に●印がついています。

講義名	内容	超速逐条予備フルパック	超速逐条総合パック	超速基礎力完成パック
超速入門講義	法律の学習が初めての方、ブランクのある方にオススメの講義です。 基礎的な法律知識について丁寧に解説します。	●	●	●
超速逐条基礎講義	全73回（約220時間）で合格に必要な知識をすべて網羅するコンパクトなインプット講義です。	●	●	●
論文導入講義	約100問の基本的な問題を集めた論文導入問題集と全8回の講義で、論文の書き方を身に付けていただく講義です。	●	●	●
論文基礎答練	基礎的な良問を題材に時間内に論文答案を書く練習をします。	●	●	—
論文セレクト過去問分析講義	上原講師厳選の論文過去問を題材に、実践力を強化します。	●	●	—
実務基礎科目徹底解析講義	対策の難しい実務基礎科目について、豊富な実務経験を誇る講師が分かりやすく解説します。	●	—	—
予備試験論文応用答練	予備試験合格者が監修した本試験形式のTACオリジナル答練です。	●	—	—

2. コース別配布教材一覧

講義名	教材名	超速逐条予備フルバック	超速逐条予備総合バック	超速逐条総合バック
超速入門講義	オリジナルレジュメ ※逐条テキスト抜粋版	●	●	●
超速逐条基礎講義	予備試験・司法試験『逐条テキスト』〈早稲田経営出版〉 (全7冊) ※2021年版を使用します。	●	●	●
	超速逐条基礎講義 短答過去問レジュメ (全7冊)	●	●	●
	超速逐条基礎講義 論文過去問レジュメ (全7冊)	●	●	●
論文導入講義	論文導入問題集	●	●	●
論文基礎答練	問題冊子・解説冊子・受講生参考答案・講評※1 (全20回分)	●	●	●
論文セレクト 過去問分析講義	予備試験論文過去問レジュメ (全7冊) 旧司法試験論文過去問レジュメ (全6冊)	●	●	—
実務基礎科目 徹底解析講義※2	民事：ざっくり学ぶ民事保全法&民事執行法 民事：民事実務基礎事実認定テキスト 民事：要件事実入門テキスト 刑事：講師作成オリジナルレジュメ (全2冊) オリジナル答練 問題冊子・解説冊子	●	—	—
予備試験 論文応用答練	問題冊子・解説冊子 (系統別全8回分)	●	●	—

※1 受講生参考答案・講評は、WEB SCHOOL上に掲載いたします。

※2 上記教材以外に「実務基礎科目 徹底解析講義」では、以下の市販書籍を使用いたします。各自でご用意ください。
『要件事実入門 紛争類型別編』（岡口基一 創耕舎）

※ 使用教材について

上記一覧の使用教材は変更となる場合がございます。予めご了承ください。
使用教材の変更が生じた場合は、TAC WEB SCHOOLにて公開しています。

※ 教材の訂正情報について

配布教材に訂正が判明した場合は、TAC WEB SCHOOLにて公開しています。
マイページへログイン後、学習フォローの「[正誤情報]」メニューをクリックし、教材の訂正情報を確認してください。

3

演習・答練について

講義名	科目	回数	提出締切	出題範囲	返却方法	
					ビデオブース講座	通信講座
論文基礎答練	民法	5回	2022/7/10(日) TAC必着	範囲指定 なし	受講生専用インターネットサービス 「TAC WEB SCHOOL」に添削済み答案を掲載します。	
	商法	3回				
	民事訴訟法	2回				
	憲法	3回				
	行政法	2回				
	刑法	3回				
	刑事訴訟法	2回				
論文応用答練	公法系	2回				
	民事系	2回				
	刑事系	2回				
	実務基礎	2回				

4

公開模試について

※当講座は、公開模試はございません。

超速逐条予備フルパックに含まれる「予備試験 論文応用答練」は、予備試験論文式試験と同じ時間配分となっておりますので、論文模試代わりにご受講ください。

5 質問・相談について

学習上の疑問点や学習の進め方などの相談事項は、わからないままにせず、解決しておきましょう。

受講メディア・受講コースによって質問体制は以下のようにご用意しております。

1. 質問メール

i-support 内に付属している質問メールにてご質問していただくことができます。

※質問 1 回につき、質問事項は 1 項目にてお願いします。

※質問をいただいてから約 2 週間程度で回答します。

※質問メールの利用方法は通信講座編「3 i-support」をご参照ください。

※質問メールの最終締切日は、通学講座・通信講座共通編「11 各種サービス提供期限一覧」をご覧ください。

2. 個別相談制度を利用して質問する

対象コースをお申込みの方であれば、「個別相談制度」の一環である「個別学習カウンセリング」を利用して講師に直接質問・相談することができます。対象コース、詳細は P34 にてご確認ください。

3. 質問内容について

受講講座以外の教材（市販書籍、過去の教材、他の資格専門学校で使用される教材、他社で発行されている問題集やテキスト）についての質問や、当該試験の学習範囲を逸脱している質問、他資格に関する質問にはお答えできません。

単科生につきましては、単科に含まれている科目のみ質問を受付いたします。

受け付けできない質問内容の場合は、回答をしないで返却させていただきます。予めご了承ください。

※「短答必修アプリ」に関するご質問は受付いたします。

★質問内容は具体的かつ簡潔に記入してください。ご利用の際は、以下の内容にご注意ください。

- (1) 皆様から寄せられる質問メールには、辞書やテキスト等で調べれば分かるものもあります。「わからない」と思ったら、まずできるだけ自分で調べてみましょう。時間はかかるかもしれませんが、そうやって身につけた知識は決して忘れないものです。
- (2) 質問メールは上手に使う実力アップを図るために、どのテキストの何ページに書いている事柄の、何がわからないのかをできるだけ詳しく書いてください。質問が具体的であればあるほど、講師も確実に回答することができます。

6 各種フォロー・サービス対応表

各種フォロー・サービスの利用は、お申込みのコース、学習メディアに応じて下表の通りとなります。

	パック生 ※		単科生	
	ビデオブース講座	通信講座	ビデオブース講座	通信講座
校舎間自由視聴制度	●	—	●	—
ビデオブース重複フォロー	◎ (500 円/回)	—	—	—
Web フォロー	●	—	●	—
個別学習カウンセリング	●	●	—	—
個別答案指導	●	●	—	—
i-support	●	●	●	●
自習室の利用	●	●	—	—
短答必修アプリ	●	●	—	—

「●」：標準装備 「—」：該当なし

※パック生とは、「超速逐条予備フルパック」「超速逐条総合パック」「超速逐条論文パック」「超速基礎力完成パック」を指します。

校舎間自由視聴制度	申込登録校舎以外のビデオブースでDVD視聴ができる制度です。なお、講座を開講している校舎に限ります。
ビデオブース 重複フォロー	もう一度受講したい場合、ビデオブース視聴にて受講できる制度です。 〔要予約・1 講義 500 円（税込）〕。
Web フォロー	講義を収録した動画をWebにて視聴できます。
個別学習カウンセリング	法律を学習する中での悩みや不安を解消するためのカウンセリングです。（⇒P17）
個別答案指導	論文式問題の答案と答案構成用紙を用いて、答案の書き方を指導します。（⇒P17）
i-support	インターネットを用いたフォロー制度の総称で、「質問メール」「よくある質問」「正誤情報」等のメニューから構成されています。
短答必修アプリ	司法試験・予備試験の短答式試験対策ができるスマートフォン用アプリです。

7 各種サービス提供期限一覧

司法試験講座（超速シリーズ）

各種サービス提供期限一覧 [2022 年目標]

各種サービスの提供は特にご案内のない場合、会員証有効期限までとなっています。

会員証有効期限 2022/07/31（会員証記載）

サービス内容	期限	詳細
通学講座の教材受け渡し請求期限	2022/7/31	受け渡し請求期限付近は、在庫状況により請求当日のお渡し しが難しい場合がございます。予めご了承ください。
ビデオブース視聴期限	2022/7/25	DVDのご予約は、 <u>2021/7/24</u> までにお手続きください。
通信講座の教材問い合わせ期限	2022/7/31	期限後の教材等の送付漏れ、乱丁・落丁等のお問い合わせは お受けいたしかねます。
講義動画視聴期限	2022/7/31	期限後は講義などの視聴が出来なくなります。
i-support 利用期限	2022/7/31	期限後はご利用出来なくなります（質問メールは下記参 照）。
質問メール	2022/7/1 TAC必着	本試験（予備試験論文式試験）までに質問回答できるのは、 2021/7/1 TAC必着分とさせていただきます。
答練提出期限	2022/7/10 TAC必着	左記の期限までにご提出いただいた答練は、添削済み答案 を返却いたします。
短答必修アプリ	2022/7/31	期限後はご利用出来なくなります

注1：通信メディア受講で教育訓練給付金制度をご利用の場合、答案は修了日まで受け付けいたします。
各自の修了日までに全提出課題の8割以上をご提出ください。

詳細は、通学メディア・通信メディア共通編「**8**教育訓練給付制度について」のページを参照し
てください。

8 教育訓練給付制度について

以下、教育訓練給付制度に関する説明は、全て「一般教育訓練」についての内容です。現在TACで開講している講座は、「専門実践教育訓練」ではありませんのでご注意ください。

一般教育訓練給付制度

受講開始日において支給要件のある方が、厚生労働大臣の指定する講座を受講し修了した場合、支払った入会金・受講料の20%（上限10万円）がハローワークから支給されます。[2020年10月1日現在]

1. 一般教育訓練対象コース

制度の詳細ならびに対象コースは「TAC教育訓練給付制度パンフレット」でも必ずご確認ください。

※対象コース

- ・**超速逐条総合パック** 通学メディア【ビデオブース講座】
通信メディア【DVD・Web通信講座】

2. 講座申込時

講座のお申込みから1ヶ月以内に、「TAC/Wセミナー教育訓練給付制度申請申込書」に必要な事項をご記入の上、TACへご提出ください。講座のお申込みだけですと、教育訓練給付制度申込の登録は完了しておりません。必ずご提出ください。併せてご本人確認のため、本人および住居の確認ができるものをご提示ください。郵送で提出する場合は、本人および住居の確認ができるもののコピーを添付してください。

★支給要件の照会

ご自身に教育訓練給付金の支給要件があるかどうかをハローワークで照会することができます。照会に必要な「教育訓練給付金支給要件照会票」はTAC各校舎にもございます。ご自身の支給要件について不安がある方は、予め確認してから教育訓練給付制度申込をしていただく事をお勧めします。TACでは支給要件を満たしているかどうかの判断はできません。ご了承ください。

3. 受講にあたって

◆通学の場合

修了認定するための基準（修了要件）

TAC/Wセミナーでは、修了日までに出席率80%以上並びに修了試験において正答率60%以上を通学生の修了要件として規定しております。

出席確認

講義・答練に出席の際は、毎回TAC会員証を忘れずに持参し、専用スキャナーによる読取を受けてください。

ビデオブースは予約履歴で出席回数を確認いたします。予約をキャンセルした講義は出席率に加算しません。

出席状況は「TAC WEB SCHOOL」⇒「マイページ」⇒「学習記録」⇒「出席状況」にてご確認ください。

修了日までに出席率80%以上となるよう、ご自身で出席状況の確認を行ってください。受講した講義欄に「済」が表示されていない場合は、速やかに受講したTAC受付窓口にお申し出ください。

登録のクラスを欠席したら

通学形態のフォロー制度（教室振替制度・ビデオブースフォロー）を利用して受講した場合は出席率に加算されます。

音声DLフォローやWebフォローなど通信形態での受講や資料の受取りだけの場合は、出席として扱われません。ご注意ください。

修了日について

通学生の修了日は、指定講座全体の講義最終日以降にTACが修了要件を確認する日です。講義最終日より約1週間後となります。各指定講座の修了日は、修了試験問題送付時にご案内いたします。

※会員証に記載のある「有効期限」とは異なりますのでご注意ください。

◆通信の場合

修了認定するための基準（修了要件）

TAC/Wセミナーでは、修了日までに添削答案提出率 80%以上並びに修了試験において正答率 60%以上を通信生の修了要件として規定しております。

※対象となる添削答案

- ・論文基礎答練 全20回

答案の提出

添削答案をご提出の際は、答案用紙にデータファイルをホチキスで留めて、専用の封筒でご郵送ください。データファイルが印刷されている解答用紙やマークシートの解答用紙は、必要事項を記入し解答用紙のみをご郵送ください。

白紙答案や著しく解答の記入が少ない答案は提出と認められませんのでご注意ください。

受講期間と修了日について

受講される講座の初回発送日から12カ月（「TAC教育訓練給付制度パンフレット」厚

生労働大臣指定講座案内に記載) を経過した期日が修了日となります。

各自の修了日は給付制度申請申込登録完了後、教材とは別にTACよりご案内をお送りします。答案は修了日まで受け付けいたします。

※会員証に記載のある「有効期限」とは異なりますのでご注意ください。修了日以前に修了要件を満たされても、修了証明書等の発送は各自の修了日以降となります。

※Web・音声DLの配信は、本試験日や会員証の有効期限等、各講座が定める期日までとなります。修了日までご利用いただけない場合がございます。予めご了承ください。

4. 教育訓練給付制度修了試験について

教育訓練給付制度修了試験問題は、教育訓練給付制度を申請された方全員に、修了日の約2ヶ月前に郵送します。送付日程について事前に確認されたい場合は、お手数ですがお問い合わせください。修了試験の解答用紙は、試験問題送付時にご案内する提出日までを目安にTAC宛ご返送ください。

※資格試験(本試験)の受験および可否は教育訓練給付制度の支給要件とは関係ありません。

5. 講座修了時

所定の期間内に要件を満たして修了された方には、修了日の翌日にTACより「教育訓練給付金支給申請書」「教育訓練修了証明書」「領収書」もしくは「クレジット契約証明書」の3点を郵送いたします。修了日から1週間以内に書類が届かない場合は至急TACまでご連絡ください。

教育訓練給付制度の関係書類は全て郵送いたします。

住所や書類送付先の変更は、所定の変更届出書にて速やかにお手続きください。

6. 支給申請手続

教育訓練の要件を満たして修了された方が給付金の支給を受けるには、ハローワークでの支給申請手続が必要です。支給申請手続は原則、修了日の翌日から起算して1ヶ月以内です。

※支給申請期限内に手続きできなかった場合は、ハローワークの雇用保険窓口にお問い合わせください。2年間の時効の期間内であれば支給申請手続きが可能です。

7. 教育訓練給付制度に関する詳細

■TACのホームページにある一般教育訓練給付制度のご案内

<https://www.tac-school.co.jp/kyufu/>

■ハローワークインターネットサービス「教育訓練給付」について

https://www.hellowork.go.jp/insurance/insurance_education.html

■TAC教育訓練給付制度パンフレット

- ・TAC各校舎にございます。
- ・TACカスタマーセンターでもご請求いただけます。

9

司法試験講座オリジナルサービス

1. 個別相談制度（個別学習カウンセリング・答案指導）

法律を学習する中での悩みや不安を解消するため、講師がカウンセリングを行います。学習スケジュールのチェックや勉強方法の相談など、皆さんの状況に合わせた個別相談を丁寧に行っていきます。また、答案指導を希望される論文式問題と答案構成用紙をお持ちいただければ、講師がその場で答案指導（答案の添削ではございません）をいたします。

※実施校舎・担当講師は実施月ごとに TAC WEB SCHOOL にてお知らせいたします。なお、ご来校が難しい方のために、お電話やオンラインでのご相談も実施いたします。ご予約方法等の詳細は i-support にてご案内いたします。

※超速逐条予備フルパック/超速逐条総合パック/超速基礎力完成パックをお申込みの方限定のフォロー制度です。上記以外の講座をお申込みの方はご利用いただけません。

2. 短答必修アプリ

司法試験・予備試験の短答式対策において、確実に正解しなくてはならない問題をスマートフォン用アプリに収録しました。本試験での、短答式試験の合格基準となる約6割の正答率を突破するために、徹底的にやりこみましょう！

＜対象コース＞

超速逐条予備フルパック/超速逐条総合パック/超速基礎力完成パック

※アプリの利用方法についての詳細は、TAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」に掲載しています。

3. 「論文基礎答練」解き直しサービス

入門・基礎期の答練である「論文基礎答練」については、繰り返し答案作成をすることで論文を書くための確かな基礎力が身につきます。そこで、一度提出して添削を受けた「論文基礎答練」でも、もう一度提出して添削を受けることができます。

※一つの答練につき、一度まで解き直しが可能です。詳細は、答練の実施時期に改めてご案内いたします。

受講ガイド

ビデオブース講座編

1 答練等の受講、答案の採点および返却

1. 答練等の受講について

ご視聴いただく講義は解説講義のみとなります。

受講に際しては、以下のいずれかの方法で解答し、その後、講義をご視聴ください。

- (1) ビデオブースで解答
- (2) 自習室にて解答
- (3) 自宅に問題を持ち帰って解答

2. 答案の提出・返却について

(1) 答案の提出について

答案の提出は、各校舎の受付窓口へお願いいたします。

お申込みの講座や登録コース、受講形態によっては自己採点していただくものがございます。詳しくは通学メディア・通信メディア共通編「**3**演習・答練について」をご確認ください。

(2) 答案の提出期限について

お申込みの講座や登録コースによっては各答練に提出期限がある場合がございます。提出期限については、通学メディア・通信メディア共通編「**7**各種サービス提供期限一覧」にてご確認ください。

(3) 答案の返却について

答練・演習の成績結果は、約2週間後より TAC WEB SCHOOL にて確認できます。

※お申込みの講座や登録コースによっては、各校舎受付窓口にて返却する場合もありますので、詳細は受付窓口でご確認ください。

※お申込みの講座や答練内容によっては、成績表のみの返却とさせていただきます。予めご了承ください。

(4) 返却答案の保管期限

返却答案の保管期限を講座ごとに定めています。保管期限を過ぎた答案は処分いたしますので、各自お早めにお持ち帰りください。保管期限につきましては、通学メディア・通信メディア共通編「**7**各種サービス提供期限一覧」にてご確認ください。

2 答練・演習の教室振替について

答練は教室で受けたいという方のために、一部の答練は教室受講することができます。

＜教室受講対象答練＞

- ・予備試験論文応用答練

※当制度については、日程・受講方法等詳細を TAC WEB SCHOOL にて公開いたします。

※定員に達したクラスについては、受講をお断りするケースがあります。詳細は各校までお問合せください。

※採点後の答案は、「**1** 答練等の受講および答案の採点及び成績発表について」に準じて返却致します。

3 もう一度講義を受講したい場合

一回の受講では十分に理解できなかった講義を、もう一度受講したい場合には、同一講義を再受講することができます。

対象コース・対象講義等は下記をご確認ください。また、利用方法等が校舎によって異なる場合がございます。詳細は各校受付にお問い合わせください。

1. 対象コース：超速シリーズ
2. 対象講義：パックに含まれる全ての講義
3. 回数：1回
4. 利用方法：ビデオルームでのご利用となります。

※一回あたり 500 円（税込）の利用料金がかかります。

※ビデオブースのご利用には、事前に予約が必要です。

共通編

ビデオブース講座編

通信メディア編

受講ガイド

通信メディア編

1 教材発送について

1. 教材等の到着日

日程表記載の教材発送日は、TACから出荷する日付です。受講生の皆さんの自宅への到着は、地域によって異なりますが、目安としてTAC発送日の1日～4日後となります。

お届けの際にご不在の場合は、「不在連絡票」が入れられますので、ご確認の上、教材をお受取りください。

なお、初回発送日以降に申し込まれた方には、経過分をまとめて発送いたします。

※通信講座の受講生に向けた、出荷荷物番号が確認できるサービスもご用意しております。

TAC WEB SCHOOL をご確認ください。

2. 教材等の確認

毎回「送付明細表」を添付しておりますので、教材等がお手元に届きましたら、まずは内容のご確認をお願いします。

3. 教材発送に関するお問い合わせ

教材の発送漏れ、教材の乱丁・落丁等がありましたら、発送日より1ヶ月以内に送付明細表に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

※お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOL をご確認ください。

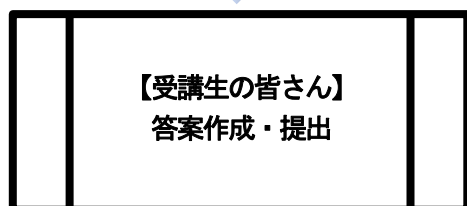
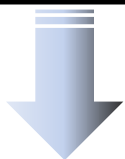
なお、会員証記載の有効期限後の請求には応じられません。予めご了承ください。

2 答案添削の流れ

1. 添削システム



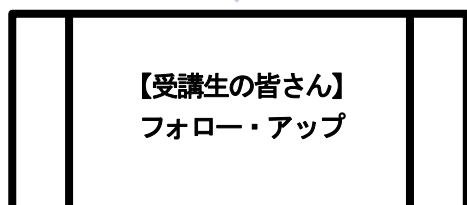
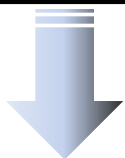
発送日程にしたがって問題が発送されます。



計画的に学習し、必ず答案を提出しましょう。
※最終提出締切日（通学メディア・通信メディア共通編「**7**各種サービス提供期限一覧」参照）を過ぎますと、採点は行いませんので厳守してください。



提出された答案は、採点して返却します。
■答案返却までの目安は、TAC到着後、約2～3週間です。
■記述式答案・論文式答案は添削指導して返却します。
■添削済答案データはTAC WEB SCHOOLのマイページより確認できます。



添削された答案と解答・解説等で、フォロー・アップをしっかりと行ってください。

3. 答案作成上の注意

(1) 論文答案

論文答案の作成は、各試験の規定に準じた筆記用具で作成してください。

(2) マークシート答案

- ①マークシート答案の作成は、必ずHB かB の鉛筆またはシャープペンシルで解答してください。それ以外の筆記用具（ボールペンや万年筆、色鉛筆など）で解答されているものは採点処理できません。
- ②会員番号・氏名・受験地区等の記入漏れや記入ミス・マークミスがあった場合、成績表が正しく表示されないことや、ご本人様のお手元に成績表が返送できないことがございます。ご記入には十分ご注意ください。

4. 答案最終提出締切日

各種答練・演習には最終提出締切日がございます。通学メディア・通信メディア共通編

「**7**各種サービス提供期限一覧」をご確認ください。

※教育訓練給付制度をご利用の方は、ご自身の修了日が提出の最終締切日となります。

5. 答案郵送の方法

教材送付時に同封されている専用の返信用封筒に切手を貼って提出してください。

専用の封筒がお手元にない場合には、市販の封筒でも構いません。

下記送付先を明記してください。その際は、表に答案在中と赤書してください。

〒 101-8383 東京都千代田区神田三崎町 3-2-18

TAC通信教育部 行

6. お問い合わせ

答練・演習の答案返却に関するお問い合わせは、TAC通信教育部・答案管理担当までお願いします。

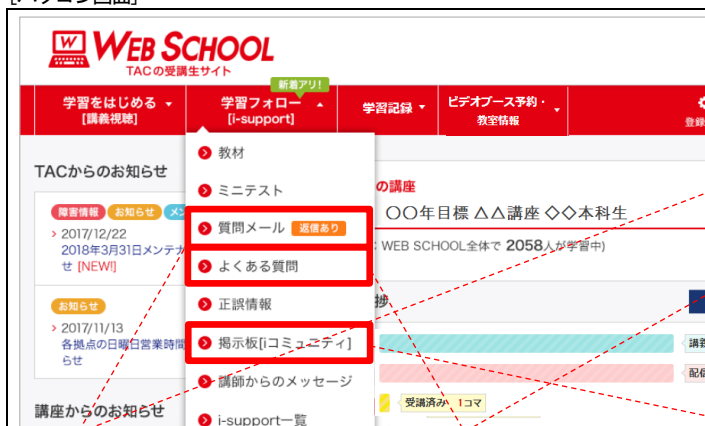
※お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOLをご確認ください。

3 i-support

TACのインターネットフォローシステム「i-support」は、受講生と講師、受講生同士といった双方向のコミュニケーション学習を可能にします。メールで疑問点を質問できる「質問メール」、学習上よくある質問をデータベース化した「よくある質問」、Web上で情報交換ができる「掲示板 [i-コミュニティ]」など、フォロー体制は万全です。

※お申込みいただいている講座・コースにより、ご利用いただける機能は異なります。

【パソコン画面】



【スマートフォン画面】



◆質問メール

学習上の疑問点など質問したい場合、いつでもメールで質問が出来ます。疑問点や不明な点は早めに解決することが大切です。講師またはスタッフがわかりやすく丁寧にお答えします。

※回答もマイページ上でご確認ください。

◆よくある質問

疑問点や不明点があったら、まずは「よくある質問」をご覧ください。一般的に多い質問や他の方がすでに質問した事項をデータベースに集めてありますので、疑問に思う項目を探すことができます。

◆掲示板 [i-コミュニティ]

同じ試験を目指す仲間の情報交換の場がi-コミュニティ。言ってみればインターネット上に設けたコミュニケーションの場です。受講生同士で試験のことや学習方法など、自由にディスカッションを行うことができます。※当講座にはございません。

1. ご利用方法

「i-support」はTAC WEB SCHOOLのマイページよりご利用いただけます。マイページ登録をまだ行われていない場合は、[http://portal.tac-school.co.jp]にアクセスし、→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、画面の案内に従って登録を完了させてください。

2. 注意事項

TACでは『i-support』の操作方法につきましてはサポートしております（お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOLをご確認ください）が、それ以外の内容（パソコンの使い方・故障・プロバイダーへの接続不具合等）につきましてはサポートいたしかねますので、直接メーカーやプロバイダーにお問い合わせください。

4 スクーリング

当講座には、スクーリング制度はございません。